

【衛生法規に関する知識】

1. クリーニング業法に規定するクリーニング所について、次の中から正しいものを一つ選びなさい。
 - ① 溶剤又は洗剤を使用して、衣類その他の繊維製品又は皮革製品を原型のまま洗濯することを営業とする施設はクリーニング所に該当する。
 - ② 貸しおしぼり、貸しおむつなどの、いわゆるリネンサプライと呼ばれている施設はクリーニング所に該当しない。
 - ③ 洗いをしない仕上げ工程のみを行う施設は、クリーニング所に該当しない。
 - ④ コインランドリーの施設は、多くの人が利用し、公衆衛生上の措置を取る必要があるので、クリーニング所に該当する。

2. 消毒を要する洗たく物は、厚生労働省令で定められているが、次の中から該当しないものを一つ選びなさい。
 - ① おむつ、パンツその他これらに類するもの。
 - ② 病院又は診療所において療養のために使用された寝具その他これらに類するもの。
 - ③ 伝染病の疾病にかかっている者が使用していたが、営業者に引き渡される前に消毒されているもの。
 - ④ 手ぬぐい、タオルその他これらに類するもの。

3. クリーニング師の免許にかかる取扱いについて、誤っているものを一つ選びなさい。
 - ① クリーニング師が免許証を失ったときは、1 月以内に免許を与えた都道府県知事に再交付の申請をしなければならない。
 - ② クリーニング師は、住所を変更したときは、10 日以内に、免許証の訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にしなければならない。
 - ③ クリーニング業法の規定により免許の取消処分を受けた者は、5 日以内に免許証を免許を与えた都道府県知事に返納しなければならない。
 - ④ クリーニング師が死亡したときは、戸籍法上に規定する届出義務者は、1 月以内に免許証を免許を与えた都道府県知事に返納しなければならない。

4. クリーニング業法に規定する、クリーニング師の研修や、業務従事者の講習について誤っているものを一つ選びなさい。
 - ① クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後 1 年以内に都道府県知事が指定したクリーニング師の資質を向上するための研修を受けなければならない。
 - ② 臨時に雇用されたものも、業務従事者の講習の受講の対象者となる。
 - ③ 無店舗取次店の従事者も、業務従事者の講習の受講の対象者となる。
 - ④ クリーニング師免許を有する者であれば、クリーニング所の業務に従事しない者にもクリーニング師の研修の受講は義務付けられている。

【公衆衛生に関する知識】

5. 洗濯物の消毒方法で間違っているものを一つ選びなさい。

- ① 100℃以上の湿熱に 10 分間以上触れさせる。
- ② さらし粉や次亜塩素酸ナトリウム等を使用し、その遊離塩素が 0.1ppm の水溶液中に 30℃以上で 5 分間以上浸す。
- ③ 逆性石けん液、両性界面活性剤等の殺菌効果のある界面活性剤を使用し、その適正希釈水溶液中に 30℃以上で 30 分間以上浸す。
- ④ 80℃以上の熱湯に 10 分間以上浸す。

6. 循環型社会の形成に向けて、省資源化の具体策として 3R(スリーアール)と呼ばれる取組みが進められているが、次のうち 3R に含まれないものを選びなさい。

- ① リサイクル(再資源化)
- ② リデュース(廃棄物の発生抑制)
- ③ リコール(回収、修理)
- ④ リユース(再利用)

7. 次の保健所の業務について誤っているものを一つ選びなさい。

- ① 国民健康保険料に関する事項
- ② 栄養の改善と食品衛生に関する事項
- ③ 精神保健に関する事項
- ④ 公共医療事業の向上及び増進に関する事項

8. 次の()にあてはまるものを、下から一つ選びなさい。

()でドライクリーニングしたとき、衣類の乾燥が不十分で、残留した溶剤のため皮膚障害を生ずる場合がある。特に、人工皮革、天然皮革、厚手の衣類では溶剤の乾燥に時間がかかるため、十分に乾燥を行わなければならない。

- ① フロン 113
- ② テトラクロロエチレン
- ③ 1,1,1-トリクロロエチレン
- ④ 石油系溶剤

【薬品に関する知識】

9. 次の記述について、、に当てはまる語の組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

衣料用合成洗剤を水に投入すると、洗剤中の界面活性剤分子が水の表面にし、液の表面張力はなる。

- ① A：拡散 B：大きく
- ② A：拡散 B：小さく
- ③ A：吸着 B：大きく
- ④ A：吸着 B：小さく

10. 溶剤と併用した場合のドライクリーニング用洗剤(ドライソープ)の働きに関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- ① 不溶性汚れの除去促進と再汚染防止
- ② 油を可溶化し、油溶性汚れとしみ除去を促進
- ③ 静電気の防止・抑制
- ④ 風合いの維持、向上

11. 次の繊維のうち、次亜塩素酸ナトリウムなど塩素系漂白剤の使用を避けるべきものを一つ選びなさい。

- ① 綿
- ② 毛
- ③ レーヨン
- ④ ポリエステル

12. 次の物質のうち、ランドリーにおける再汚染防止剤や糊付け用糊料として利用するのに正しいものを一つ選びなさい。

- ① 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム(LAS)
- ② カルボキシメチルセルロース(CMC)
- ③ ポリエチレンテレフタレート(PET)
- ④ ハイドロフルオロカーボン(HFC)

【繊維に関する知識】

13. 紡糸法に関する説明で誤っているものを一つ選びなさい。

- ① レーヨンとは、木材パルプ中のセルロースを薬品で溶解し、凝固浴を通して固化し湿式紡糸する。
- ② アセテートは、溶解した酢酸セルロース繊維を大気中に噴出して乾式紡糸する。
- ③ アクリルは、樹脂原料を加熱して熔融させ、それを大気中に噴出して熔融紡糸する。
- ④ とうもろこしなどバイオマス資源から作られ環境に優しい繊維として脚光を浴びつつあるポリ乳酸繊維は、樹脂原料から熔融紡糸法で作る。

14. 綿、麻に関する説明で誤っているものを一つ選びなさい。

- ① 綿や麻は水に濡れると強力は増加する。
- ② 麻は中空繊維で吸水・吸湿性に優れるが、綿の断面は中空ではない。
- ③ 綿は扁平なりボン状の形状と天然の撚りをもつ。
- ④ 麻は比較的熱伝導率が大きく、清涼感に優れ、夏素材として好適である。

15. 羊毛、絹に関する説明で誤っているものを一つ選びなさい。

- ① 羊毛は魚の鱗(うろこ)のような細胞で覆われている。
- ② 繭(まゆ)から取り出したまゆ糸は、フィブリルの集合体であるフィブロインをセリシンで覆った眼鏡のような形をしている。
- ③ 羊毛単繊維は縮れをもつが、この縮れは吸湿度に応じて伸縮する。
- ④ 絹糸は平滑な円形断面で、いくぶん透明感があり、やわらかな光沢をもつ。

16. 再生繊維に関する説明で誤っているものを一つ選びなさい。

- ① レーヨンはスキンコア構造をもち、断面は異型である。
- ② キュプラは円形に近く同一構造をもち、光沢も温和で美しい。
- ③ リヨセルは特殊な溶剤に溶かし、ノズルより気中に噴出して作るが、噴出口の形状を変えて多様な断面形状のものが上市されている。
- ④ ポリノジックはレーヨンと同様の工程で作られるが、断面は円形に近い。

【処理に関する知識】

17. アイロンの適正温度について、誤っているものを一つ選びなさい。
- ① ポリエステル繊維の適正アイロン温度は、120～130℃である。
 - ② アクリル繊維の適正アイロン温度は、120℃以下である。
 - ③ 絹の適正アイロン温度は、120℃以下である。
 - ④ レーヨンの適正アイロン温度は、140～150℃である。
18. ドライクリーニングによる再汚染について、誤っているものを一つ選びなさい。
- ① 硬度の低い水を使用したとき。
 - ② ドライ溶剤の使用量が極めて少ないとき。
 - ③ 洗浄時間が短すぎたとき。
 - ④ フィルターの能力が大幅に低下したとき。
19. シミについての説明で誤っているものを一つ選びなさい。
- ① 「油性のシミ」の代表的なものとしては、口紅、食用油などがあげられる。
このシミは石油系溶剤やベンジンのような有機溶剤に溶解するが、水溶性には溶解しない。
 - ② 「不溶性のシミ」は、有機溶剤、無機溶剤のどちらにも溶解せず、拡大鏡などで拡大すると粒子状にみえる物質であり、泥はねやホコリが代表的である。
 - ③ シミ抜きは、まず水溶性のシミを処理し、次に油性、不溶性のシミの順に処理を行う方が良い。
 - ④ 「水溶性のシミ」は、スプレーで水をかけると、生地よりもシミの方が水分を早く吸収する。
20. クリーニング事故賠償基準について、誤っているものを一つ選びなさい。
- ① 洗たく物について事故が発生した場合には、その原因がクリーニング業者にあるかどうかを問わず、クリーニング業者が被害者に対して補償する。
 - ② クリーニング品が納期を定めた引渡し期日に引渡されず、その間、消費者が代替の衣料などを賃借した場合には、その料金をクリーニング業者が負担する場合がある。
 - ③ クリーニング事故の衣類の再取得価格が算定できない場合、その衣類がドライクリーニング処理を行われた場合には、クリーニング料金の 40 倍を賠償額とする。
 - ④ クリーニング品の受け取りが長期間なされない場合には、クリーニング業者は無条件にその衣類を処分できる。